

「ハーブ豚」に新ロゴ

年間販売頭数は8万頭

日清丸紅飼料

飼料業界のリーディング工場を含め全国13工場。グ・カンパニーとして年間間の販売数量は2900万トで、売上高は180億円。畜産用や水産用料料。商品開発力とブランド戦略の実践により、飼料の中でも、天然ハーブを生産から流通段階まで幅広いチェーンで評価を獲得している。

ことし4月に同社を代表するブランド「ハーブ豚」の新ロゴを導入、「ハーブ村」Webサイトをリニューアルした。同社飼料工場は、合併



新しい「ハーブ豚」のロゴを導入

を「ハーブ豚」「ハーブ牛」「ハーブ卵・鶏」「ハーブ水産物」と呼び、これらを統括して「ハーブ村」事業を展開している。

「差別化畜産物事業」と、量販店や外食業態、食肉加工企業に対し企画提案や原料調達をサポートする「サポート事業」の2本柱で推進している。

農場で生産されており、年間販売頭数は8万頭。増頭は可能だが、農場の飼育環境や状況をみながら慎重に行っている。ハーブ村では独自の10項目に及ぶ安全基準・肉質基準を設けている。年一回、定期的に肉質検査を実施し、一流料理人に味と肉質を評価してもらうなど、ブランドの品質維持と安定供給に取り組んでいる。

ド・ロゴマーク（商標登録）を導入。また、「ハーブ村」Webサイトが開設から10年経過していることから全面リニューアルした。

大のPRを行うとともに、精肉パックやパンフレットなどに導入、類似品と差別化する。5月には「中国料理美食展2014」に出展。

「ハーブ村」の今年度売上高は100億円の達成を見込んでいる。ホテル、高級レストランを中心とした外食に加え、量販店の取り扱いも増えており、今後は「売上高目標150億円」を掲げている。

日本KFCと共同開発したハーブ鶏の販売から始まり、ことしで18年目。翌97年に「ハーブ豚」の生産販売が始まり、ぶどう、肉の利用者への認知度向上を図っている。

「ハーブ豚」は全国22

「ハーブ豚」の新しいブラン

え高く空を見上げた「ハ